

ID No.	1017
研究課題名	臍帯由来間葉系幹細胞を用いた新生児脳症に対する細胞治療法開発
研究代表者	辻 雅弘 (京都女子大学・教授)
研究組織	
受入教員	長村 登紀子 (東京大学医科学研究所・准教授)
研究分担者	田中 えみ (大阪市立大学・助教) 小川 優子 (先端医療研究センター・研究員) 伊藤 彩花 (京都女子大学・学生) 小池 仁美 (京都女子大学・学生) 田中 南帆 (京都女子大学・学生) 肥後 真里菜 (京都女子大学・学生)
研究報告書	<p>臍帯由来 MSC の作用機序検討として、脳内代謝産物の変化に着目し、メタボローム解析とイメージング質量分析による検討を行った。それらを臍帯血 CD34 陽性細胞治療での変化と比較することによって、臍帯由来 MSC の作用機序をより明確化することができた。得られた結果を論文にまとめ、ジャーナルに投稿したが採択されず、現在、論文を修正し、別なジャーナルに投稿する準備を行っている。</p> <p>また、上記の研究から、臍帯血治療の作用機序に関しても知見を得ることができ、多施設共同で実施した新生児低酸素性虚血性脳症に対する臨床試験に資する成果が得られた。</p>